

# #ニッポンの仕事

## ～社会・経済を支える業界団体～

### 日本栄養士連盟

# 栄養士・管理栄養士の配置促進と処遇改善を図る

日本栄養士連盟は、「栄養士制度の充実とその運用をはじめとし、栄養士・管理栄養士の配置促進と処遇改善を図る」ことを目的として、昭和50年に設立されました。戦前にルーツを持つ公益社団法人日本栄養士会が、政府と協力関係を密にし、栄養士・管理栄養士制度をより充実させるためにスタートさせた日本栄養士連盟は今、多くの栄養改善課題と、ポスト・コロナ時代の新たな食と健康の扉を開こうとしています。

### 栄養士の職域が広がり 評価が高まる

強化してまいります」と、井上幸子会長は力強く語ります。

東京都港区新橋のビルに入る日本栄養士連盟。さまざまな栄養に関連する盟に一歩足を踏み入れると、制度の実現化を図るべく、「栄養は世界を変えられる」「自分たちががんばらないと、世の中、良くならぬ」といった、栄養士・管理栄養士等、多くの女性の熱気が伝わってきます。

近年、健康増進法や食育基本法の成立、栄養士制度の創設、介護保険制度での栄養ケアの導入、特定健診・特定保健指導の中での管理栄養士の位置づけが明確にされる等、栄養士の職域が広がり、評価が高まっています。

また、災害対策、高齢化対策としての栄養士の役割も高まっています。被災者に栄養バランスのとれた食事を提供する活動も、全国から提供したり、全国から組織的に食料を調達するために、「日本栄養士会災害支援チーム」

「日本栄養士会災害支援チーム」「赤ちゃん防災プロジェクト」を構築

「今後ますます栄養の視点、栄養士の役割が大事になります。栄養はSDGs（持続可能な開発目標）を達成するための基盤です。また栄養不良を撲滅することも、すべての人の健康と福祉に不可欠でもあります。今年の栄養の日・栄養週間では、国民に栄養情報の発信で21万人以上が参加し、多様な情報提供の要求に応えました。私たちは新たな人材を育成し、栄養士の立場から、ポスト・コロナ時代の日本、世界の発展に貢献したいと考えています。」



日本栄養士連盟 井上 幸子 会長

日本栄養士連盟は、公益社団法人日本栄養士会が政治的な活動ができないことから、政府や政治家の方々のコンタクトを取りながら、

栄養士・管理栄養士の地位の向上を図り、日本の栄養学の父・佐伯矩博士の「栄養は世界を変えられる」という信念のもとに、国民の皆さまに健康で長生きしていただく社会を築くため、日々、活動を続けています。

私たちが日頃、国会議員の先生方と接している時、私たちの活動を支えてくださる先生方が多いというのを感じます。現在、栄養士職員連盟に228人が加盟されており、栄養改善政策に大きな関心を持っています。

私たちが今後とも、国会議員の先生方の栄養政策のご理解とご指導を得ながら、日本の栄養士・管理栄養士の力を合わせ国内外の人々の幸せ（健康）に貢献していきたいと考えています。

「私たちの仕事はさまざまな栄養に関連する制度の実現化を図るべく、」

「私たちが今後とも、国会議員の先生方の栄養政策のご理解とご指導を得ながら、日本の栄養士・管理栄養士の力を合わせ国内外の人々の幸せ（健康）に貢献していきたいと考えています。」



岸田文雄自民党総裁から授与された感謝状（4年連続の受賞）



全国の会員をつなぐ「連盟だより」



第47回日本栄養士連盟総会の様子（令和4年6月）



会議室に集まった常任幹事会